

本資料のうち、枠囲みの内容は、  
営業秘密又は防護上の観点から  
公開できません

東海第二発電所 工事計画審査資料	
資料番号	工認-002 改2
提出年月日	平成30年4月16日

日本原子力発電株式会社

東海第二発電所 工事計画審査資料

その他発電用原子炉の附属施設のうち

火災防護設備

(本文)

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

1 火災区域構造物及び火災区画構造物の名称、種類、主要寸法及び材料

・原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
—					原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-1)	火災区域	R-1	壁	150 以上 □*2)	鉄筋コンクリート	
					原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟 (R-3)	火災区域	R-3				
					原子炉建屋付属棟 (R-4)	火災区域	R-4				
					原子炉建屋付属棟 (R-5)	火災区域	R-5				
					原子炉建屋付属棟 (R-6)	火災区域	R-6				
					原子炉建屋付属棟 (R-7)	火災区域	R-7				

(続き)

変更前				変更後*1							
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						原子炉建屋原子炉棟 (R-8)	火災区域	R-8	壁	150 以上 □*2)	鉄筋コンクリート
						原子炉建屋原子炉棟 (R-9)	火災区域	R-9			
						原子炉建屋原子炉棟 (R-10)	火災区域	R-10			
						原子炉建屋原子炉棟 (R-11)	火災区域	R-11			
						原子炉建屋原子炉棟 (R-12)	火災区域	R-12			
						原子炉建屋付属棟 (DG-2C ルーフベントファン室)	火災区域	0-4			
						原子炉建屋付属棟 (DG-2D ルーフベントファン室)	火災区域	0-5			
						原子炉建屋付属棟 (DG-HPCS ルーフベントファン室)	火災区域	0-6			
						原子炉建屋付属棟 (屋上)	火災区域	0-7			

(続き)

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						RHR 熱交換器 A 室代替循環冷却系ポンプ A 室	火災区画	R-B2-1	壁	150 以上 □ *2)	鉄筋コンクリート
						B2 階通路	火災区画	R-B2-2			
						RCIC ポンプ室	火災区画	R-B2-3			
						サンプポンプ室(東)	火災区画	R-B2-4			
						LPCS ポンプ室常設代替高压注水系ポンプ室	火災区画	R-B2-5			
						HPCS ポンプ室	火災区画	R-B2-6			
						サンプポンプ室(西)	火災区画	R-B2-7			
						RHR 熱交換器 B 室代替循環冷却系ポンプ B 室	火災区画	R-B2-8			
						RHR ポンプ B 室	火災区画	R-B2-9			
						RHR ポンプ C 室	火災区画	R-B2-10			
						RHR ポンプ A 室	火災区画	R-B2-11			
						非常用ディーゼル(2C)室	火災区画	R-B2-12			
						非常用ディーゼル(HPCS)室	火災区画	R-B2-13			
						非常用ディーゼル(2D)室	火災区画	R-B2-14			
						A 系スイッチギア室	火災区画	R-B2-15(1)			
HPCS 系スイッチギア室	火災区画	R-B2-15(2)									

(続き)

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-						RHR 熱交換器 A 室	火災区画	R-B1-1	壁	150 以上 ( <input type="checkbox"/> *2)	鉄筋コンクリート
						B1 階通路(東)	火災区画	R-B1-2(1)			
						B1 階通路(西)	火災区画	R-B1-2(2)			
						RHR 熱交換器 B 室	火災区画	R-B1-3			
						非常用ディーゼル(2C)室	火災区画	R-B1-4			
						非常用ディーゼル(2D)室	火災区画	R-B1-6			
						B 系スイッチギア室 (MCR 外操作盤)	火災区画	R-B1-7(1)			
						B 系スイッチギア室	火災区画	R-B1-7(2)			
						D/G-2D デイタンク室	火災区画	R-B1-8			
						D/G-HPCS デイタンク室	火災区画	R-B1-9			
						D/G-2C デイタンク室	火災区画	R-B1-10			
						RHR 熱交換器 A 室	火災区画	R-1-1			
						1 階通路(東)	火災区画	R-1-2(1)			
						1 階通路(西)	火災区画	R-1-2(2)			
						RHR 熱交換器 B 室	火災区画	R-1-3			
						125V バッテリー室(2B)	火災区画	R-1-4			

(続き)

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150以上 □*2	鉄筋コンクリート	24V バッテリー室(2A)	火災区画	R-1-5(1)			
						125V バッテリー室(2B)	火災区画	R-1-5(2)			
						MG(A)エリア	火災区画	R-1-6(1)			
						MG(B)エリア	火災区画	R-1-6(2)			
						125V 充電器 2A エリア	火災区画	R-1-6(3)			
						125V 充電器 2B エリア	火災区画	R-1-6(4)			
						直流 125V 蓄電池 2A 室	火災区画	R-1-7(1)			
						直流 125V 蓄電池 HPCS 室	火災区画	R-1-7(2)			
						エレベータマシン室	火災区画	R-2-1			
						TIP ドライブメカニズム室	火災区画	R-2-2			
						2階通路(東)	火災区画	R-2-3(1)			
						2階通路(西)	火災区画	R-2-3(2)			
						CUW ポンプ B 室	火災区画	R-2-4			
						CUW 配管室	火災区画	R-2-5			
						CUW ポンプ A 室	火災区画	R-2-6			
						MS トンネル室	火災区画	R-2-7			

(続き)

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150 以上 ( <input type="checkbox"/> <sup>2</sup> )	鉄筋コンクリート	ケーブル処理室	火災区画	R-2-8			
						コンピュータ室	火災区画	C-2-1			
						中央制御室 中央制御室床下コンクリートピット	火災区画	C-2-2			
						バッテリー排気ファン A 室	火災区画	C-2-3(1)			
						バッテリー排気ファン B 室	火災区画	C-2-3(2)			
						プロセスコンピュータ室	火災区画	C-2-4			
						3 階通路(東)	火災区画	R-3-1(1)			
						3 階通路(西)	火災区画	R-3-1(2)			
						メタクラ空調機 A エリア	火災区画	R-3-3(1)			
						メタクラ空調機 B エリア	火災区画	R-3-3(2)			
						MCR 空調機 A エリア	火災区画	R-3-3(3)			
						MCR 空調機 B エリア	火災区画	R-3-3(4)			
						MCR バイパスフィルタ A エリア	火災区画	R-3-3(5)			
						MCR バイパスフィルタ B エリア	火災区画	R-3-3(6)			
						代替燃料プール冷却系ポンプ, 熱交換器室	火災区画	R-4-1			
						制御棒補修室	火災区画	R-4-2			

(続き)

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-			壁	150以上 □ <sup>#2</sup>	鉄筋コンクリート	4階通路(東)	火災区画	R-4-3(1)			
						4階通路(西)	火災区画	R-4-3(2)			
						CUW熱交換器室	火災区画	R-4-4			
						CUW逆洗タンク/ポンプ室	火災区画	R-4-5			
						FPCポンプ室	火災区画	R-4-6			
						FPC熱交換器室	火災区画	R-4-7			
						FPC輸送ポンプ室	火災区画	R-4-8			
						FPC保持ポンプA室	火災区画	R-4-9			
						FPC逆洗受けタンク室	火災区画	R-4-10			
						FPC保持ポンプB室	火災区画	R-4-11			
						5階通路(エレベータ側)	火災区画	R-5-1			
						キャスクピット除染室	火災区画	R-5-2			
						非常用ガス再循環系(A)エリア	火災区画	R-5-3(1)			
						非常用ガス再循環系(B)エリア	火災区画	R-5-3(2)			
						非常用ガス処理系(A)エリア	火災区画	R-5-3(3)			
						非常用ガス処理系(B)エリア	火災区画	R-5-3(4)			



(続き)

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-	5階通路(西)		壁	150以上 □*2)	鉄筋コンクリート	火災区画	R-5-4(1)				
	SLCポンプ(A)エリア					火災区画	R-5-4(2)				
	SLCポンプ(B)エリア					火災区画	R-5-4(3)				
	CUW F/D(A)室					火災区画	R-5-5				
	CUW F/D(B)室					火災区画	R-5-6				
	CUW保持ポンプ3A室					火災区画	R-5-7				
	CUW保持ポンプ3B室					火災区画	R-5-8				
	CUWプリコートポンプ室					火災区画	R-5-9				
	新燃料貯蔵庫					火災区画	R-5-10				
	FPC F/D(A,B)室					火災区画	R-5-11				
	キャスクピット					火災区画	R-5-12				
	FPCプリコートポンプ室					火災区画	R-5-13				
	オペフロ					火災区画	R-6-1				
	PCV全域					火災区画	PCV				

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

注記 \*2: 公称値のうち最小のものを示す。

・原子炉建屋廃棄物処理棟

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					原子炉建屋廃棄物処理棟(RW-1)	火災区域	RW-1	壁	□*2)	鉄筋コンクリート	
					原子炉建屋廃棄物処理棟(RW-5)	火災区域	RW-5				
					原子炉建屋廃棄物処理棟(RW-6)	火災区域	RW-6				

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

注記 \*2: 公称値のうち最小のものを示す。

・タービン建屋

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					タービン建屋	火災区域	T-1	壁	□*2)	鉄筋コンクリート	

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

注記 \*2: 公称値のうち最小のものを示す。

・廃棄物処理建屋

変更前					変更後*1						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					廃棄物処理建屋	火災区域	NRW-1	壁	□*2)	鉄筋コンクリート	

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

注記 \*2: 公称値のうち最小のものを示す。

・海水ポンプエリア

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
-					海水ポンプエリア（北側）	火災区域	0-2	壁	150 以上 ( <input type="checkbox"/> *2)	鉄筋コンクリート	
-					海水ポンプエリア（南側）	火災区域	0-3				

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

注記 \*2：公称値のうち最小のものを示す。

・固体廃棄物作業建屋

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
-					固体廃棄物作業建屋	火災区域	LLW-1	壁	<input type="checkbox"/> *2)	鉄筋コンクリート	

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

注記 \*2：公称値のうち最小のものを示す。

・固体廃棄物貯蔵庫

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
-					固体廃棄物貯蔵庫 A 棟	火災区域	DY-1	壁	<input type="checkbox"/> *2)	鉄筋コンクリート	
-					固体廃棄物貯蔵庫 B 棟	火災区域	DY-2				

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

注記 \*2：公称値のうち最小のものを示す。

・使用済燃料乾式貯蔵建屋

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
—					使用済燃料乾式貯蔵建屋	火災区域	DC-1	壁	□*2)	鉄筋コンクリート	

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

注記 \*2：公称値のうち最小のものを示す。

・常設代替高圧電源装置置場

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域(区画)名称	区分	番号				火災区域(区画)名称	区分	番号			
-					常設代替高圧電源装置置場(地上)	火災区域	D-1	壁	150以上 ( <input type="checkbox"/> *1)	鉄筋コンクリート	
					常設代替高圧電源装置置場 (非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプエリア)	火災区域	D-2				
					常設代替高圧電源装置置場(地下)	火災区域	D-3				
					排水ポンプ室	火災区画	D-B3-1				
					西側淡水貯水設備	火災区画	D-B3-2				
					ハロン消火設備ポンベ室A	火災区画	D-B1-1				
					機器ハッチ室	火災区画	D-B1-2				
					燃料移送ポンプ前室	火災区画	D-B1-3				
					D/G 2D 燃料移送ポンプ室	火災区画	D-B1-4				
					D/G HPCS 燃料移送ポンプ室	火災区画	D-B1-5				
					D/G 2C 燃料移送ポンプ室	火災区画	D-B1-6				
					ディーゼル駆動消火ポンプ用燃料移送ポンプ室	火災区画	D-B1-7				
					常設代替高圧電源装置用燃料移送ポンプA室	火災区画	D-B1-8				
					常設代替高圧電源装置用燃料移送ポンプB室	火災区画	D-B1-9				
					換気機械室	火災区画	D-B1-10				
					緊急用電気品室	火災区画	D-B1-11				
					ハロン消火設備ポンベ室B	火災区画	D-B1-12				
					常設代替高圧電源装置エリアA	火災区画	D-1-1				
					常設代替高圧電源装置エリアB	火災区画	D-1-2				
					常設代替高圧電源装置エリアC	火災区画	D-1-3				
階段室	火災区画	D-1-4									

(続き)

変 更 前					変 更 後						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区分	番号			
-					DB トンネル	火災区画	D-1-5	壁	150 以上 ( <input type="checkbox"/> *1)	鉄筋コンクリート	
					SA トンネル	火災区画	D-1-6				
					西側淡水貯水設備水位計室	火災区画	D-3				

注記 \*1：公称値のうち最小のものを示す。

・軽油貯蔵タンクエリア

変 更 前					変 更 後						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区分	番号			
-					軽油貯蔵タンク A	火災区域	0-8	壁	150 以上 ( <input type="checkbox"/> *1)	鉄筋コンクリート	
					軽油貯蔵タンク B	火災区域	0-9				

注記 \*1：公称値のうち最小のものを示す。

・緊急時対策所建屋

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
-					緊急時対策所建屋 (K-1)	火災区域	K-1	壁	(□)*1	鉄筋コンクリート	
					緊急時対策所建屋 (K-2)	火災区域	K-2				
					緊急時対策所建屋 (K-3)	火災区域	K-3				
					緊急時対策所建屋 (K-4)	火災区域	K-4				
					緊急時対策所発電機用燃料油貯蔵タンク A	火災区域	0-12				
					緊急時対策所発電機用燃料油貯蔵タンク B	火災区域	0-13				

注記 \*1：公称値のうち最小のものを示す。

・常設低圧代替注水系ポンプ室，格納容器圧力逃がし装置格納槽，緊急用海水ポンプピット

変更前					変更後						
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料
火災区域（区画）名称	区分	番号				火災区域（区画）名称	区分	番号			
-					常設低圧代替注水系ポンプ室	火災区域	0-14	壁	(□)*1	鉄筋コンクリート	
					格納容器圧力逃がし装置格納槽	火災区域	0-15				
					緊急用海水ポンプピット	火災区域	0-16				

注記 \*1：公称値のうち最小のものを示す。

・復水貯蔵タンクエリア

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区分	番号			
-						復水貯蔵タンクエリア	火災区域	0-1	壁	(□*2)	鉄筋コンクリート

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

注記 \*2: 公称値のうち最小のものを示す。

・屋外エリア

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区分	番号			
-						バッテリー空調機 A エリア	火災区画	0-7-1 (1)	壁	150 以上 (□*2)	鉄筋コンクリート
-						バッテリー空調機 B エリア	火災区画	0-7-1 (2)			
-						メタクラチラーユニット 4B エリア	火災区画	0-7-1 (3)			
-						メタクラチラーユニット 4A エリア	火災区画	0-7-1 (4)			
-						MCR チラーユニット-2 エリア	火災区画	0-7-1 (5)			
-						MCR チラーユニット-1 エリア	火災区画	0-7-1 (6)			
-						メタクラチラーユニット 3A エリア	火災区画	0-7-1 (7)			
-						メタクラチラーユニット 3B エリア	火災区画	0-7-1 (8)			

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

注記 \*2: 公称値のうち最小のものを示す。



・排気筒モニタ室

変 更 前					変 更 後*1						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区分	番号			
-					排気筒モニタ室	火災区域	0-17	壁	(□)*2	鉄筋コンクリート	

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

注記 \*2：公称値のうち最小のものを示す。

・可搬型設備用軽油タンク

変 更 前					変 更 後						
名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料	名 称			種 類	主要寸法 (mm)	材 料
火災区域 (区画) 名称	区分	番号				火災区域 (区画) 名称	区分	番号			
-					可搬型設備用軽油タンク室 (西側)	火災区域	0-10	壁	(□)*1	鉄筋コンクリート	
					可搬型設備用軽油タンク室 (南側)	火災区域	0-11				

注記 \*1：公称値のうち最小のものを示す。

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

2 消火設備に係る次の事項

2.1 消火系

(1) ポンプの名称、種類、容量、揚程又は吐出圧力、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料、個数及び取付箇所並びに原動機の種類、出力、個数及び取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変更前	変更後	
名称				電動機駆動消火ポンプ*1	
ポンプ	種類	—		うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h/個		<input type="text"/> 以上 (227.1*2)	
	揚程	m		<input type="text"/> 以上 (89*2)	
	最高使用圧力	MPa		1.38	
	最高使用温度	℃		50	
	主要寸法	吸込口径	mm		200*2
			mm		150*2
		たて	mm		800*2
			mm		1381*2
		高さ	mm		725*2
	材料	ケーシング	—		FC30
	個数	—			1
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		消火系
			—		タービン建屋 EL.8200 mm
溢水防護上の 区画番号		—		—	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—		—	
原動機	種類	—		誘導電動機	
	出力	kW/個		110*2	
	個数	—		1	
	取付箇所	—		ポンプと同じ	

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

\*2：公称値を示す。

・常設

			変更前	変更後	
名称				ディーゼル駆動消火ポンプ*1	
ポンプ	種類	—		うず巻形	
	容量	m <sup>3</sup> /h/個		<input type="checkbox"/> 以上 (261*2)	
	揚程	m		<input type="checkbox"/> 以上 (90*2)	
	最高使用圧力	MPa		1.38	
	最高使用温度	℃		50	
	主要寸法	吸込口径	mm		200*2
			mm		150*2
		吐出口径	mm		875*2
			mm		1083*2
		高さ	mm		700*2
	材料	ケーシング	—		FC250
	個数	—			1
	取付箇所	系統名 (ライン名)	—		消火系
			—		タービン建屋 EL. 8200 mm
溢水防護上の 区画番号		—		—	
溢水防護上の 配慮が必要な高さ		—		—	
原動機	種類	—		ディーゼル機関	
	出力	kW/個		131*2	
	個数	—		1	
	取付箇所	—		ポンプと同じ	

注記 \*1：本設備は既存の設備である。

\*2：公称値を示す。

(2) 容器の名称, 種類, 容量, 最高使用圧力, 最高使用温度, 主要寸法, 材料, 個数及び  
取付箇所 (常設及び可搬型の別に記載すること。)

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				ろ過水貯蔵タンク* <sup>1</sup>
種 類	—			たて置円筒形
容 量	m <sup>3</sup> /個			1500 以上 (1500* <sup>2</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度	℃			50
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		13560* <sup>2</sup>
	胴 板 厚 さ	mm		6.0 (6.0* <sup>2</sup> )
				8.0 (8.0* <sup>2</sup> )
				9.0 (9.0* <sup>2</sup> )
	屋 根 板 厚 さ	mm		4.0 (4.5* <sup>2</sup> )
	底 板 厚 さ	mm		12.0 (12.0* <sup>2</sup> )
	出 口 管 台 外 径	mm		318.5* <sup>2</sup>
	出 口 管 台 厚 さ	mm		17.4* <sup>2</sup>
	側マンホール管台外径	mm		628.0* <sup>2</sup>
	側マンホール管台厚さ	mm		8.4 (9.0* <sup>2</sup> )
側マンホールふた厚さ	mm		15.3 (16.0* <sup>2</sup> )	
高 さ	mm		13262* <sup>2</sup>	
材 料	胴 板	—		SS400
	屋 根 板	—		SS400
	底 板	—		SS400
	側マンホールふた	—		SS400
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		屋外 EL. 11000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1: 本設備は既存の設備である。

\*2: 公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				多目的タンク (東海発電所と共用) *1
種 類	—			たて置円筒形
容 量	m <sup>3</sup> /個			1500 以上 (1500*2)
最 高 使 用 圧 力	MPa			静水頭
最 高 使 用 温 度	℃			50
主 要 寸 法	胴 内 径	mm		13560*2
	胴 板 厚 さ	mm		5.4 (6.0*2)
				6.4 (7.0*2)
				7.4 (8.0*2)
	屋 根 板 厚 さ	mm		4.0 (4.5*2)
	底 板 厚 さ	mm		5.4 (6.0*2)
	出 口 管 台 外 径	mm		318.5*2
	出 口 管 台 厚 さ	mm		17.4*2
	側マンホール管台外径	mm		626.0*2
	側マンホール管台厚さ	mm		7.4 (8.0*2)
側マンホールふた厚さ	mm		15.3 (16.0*2)	
高 さ	mm		13256*2	
材 料	胴 板	—		SS400
	屋 根 板	—		SS400
	底 板	—		SS400
	側マンホールふた	—		SS400
個 数	—			1
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		屋外 EL.11000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1 : 本設備は既存の設備である。

\*2 : 公称値を示す。

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

2 消火設備に係る次の事項

2.1 消火系

(2) 容器の名称，種類，容量，最高使用圧力，最高使用温度，主要寸法，材料，個数及び  
取付箇所（常設及び可搬型の別に記載すること。）

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプ A 用)
種 類	—	一般継目なし容器		
容 量	ℓ/個	68 以上 (68* <sup>1</sup> )		
最 高 使 用 圧 力	MPa	5.2		
最 高 使 用 温 度	℃	40		
主 要 寸 法	外 径	mm		265* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材 料	—	マンガン鋼		
個 数	—	3		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋原子炉棟 EL. 38800 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変更前	変更後
名称			—	ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプB用)
種類	—			一般継目なし容器
容量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最高使用圧力	MPa			5.2
最高使用温度	℃			40
主要寸法	外径	mm		265* <sup>1</sup>
	高さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴部厚さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底部厚さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材料	—			マンガン鋼
個数	—			3
取付箇所	系統名 (ライン名)	—		消火系
	設置床	—		原子炉建屋原子炉棟 EL. 38800 mm
	溢水防護上の 区画番号	—		—
	溢水防護上の 配慮が必要な高さ	—	—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2C-7用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 38800 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。



・常設

			変 更 前	変 更 後		
名		称		ハロンポンベ (原子炉再循環系低速度用 電源装置 A 用)		
種	類	—		一般継目なし容器		
容	量	ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )		
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2		
最 高 使 用 温 度		℃		40		
主 要 寸 法	外	径	mm	265* <sup>1</sup>		
	高	さ	mm	1500* <sup>1</sup>		
	胴	部	厚	さ	mm	4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底	部	厚	さ	mm	9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材		料	—	マンガン鋼		
個		数	—	5		
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )		—	消火系		
	設 置 床		—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm		
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—	—		
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ		—	—		

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (原子炉再循環系低速度用 電源装置 B 用)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2D-9 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2C-9 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	ハロンボンベ (125V DC MCC 2A-2 用)
種 類	-			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		265* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材 料	-			マンガン鋼
個 数	-			4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		消火系
	設 置 床	-		原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	-	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2C-8用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 29000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2D-8 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 20300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2D-7 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 20300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—			—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—			—

注記 \*1：公称値を示す。



・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (原子炉再循環系流量制御弁用 制御油圧発生装置 A 用)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 20300 mm
溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号		—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (プロセスコンピュータ室用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				3
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋廃棄物処理棟 EL. 23000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (残留熱除去系熱交換器 A 室用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				6
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 14000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名		称		ハロンボンベ (125V DC MCC 2A-1用)
種	類	—		一般継目なし容器
容	量	ℓ/個		68以上 (68* <sup>1</sup> )
最	高	使 用 圧 力	MPa	5.2
最	高	使 用 温 度	℃	40
主 要 寸 法	外	径	mm	265* <sup>1</sup>
	高	さ	mm	1500* <sup>1</sup>
	胴	部 厚 さ	mm	4.4以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底	部 厚 さ	mm	9.0以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		5
取 付 箇 所	系	統 名 ( ラ イ ン 名 )	—	消火系
	設	置 床	—	原子炉建屋原子炉棟 EL. 2000 mm
	溢	水 防 護 上 の 区 画 番 号	—	—
	溢	水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—	—

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプ A 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. 2000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプ B 用)
種 類	—			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋原子炉棟 EL. 2000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプ A 室用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				3
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (低圧炉心スプレイポンプ用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				7
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。



・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプ B 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				6
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名		称		ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプC用)
種	類	—		一般継目なし容器
容	量	ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外	径	mm	265* <sup>1</sup>
	高	さ	mm	1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ		mm	4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ		mm	9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材	料	—		マンガン鋼
個	数	—		6
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (高圧炉心スプレイポンプ用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				9
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋原子炉棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (原子炉隔離時冷却系 ポンプ室用)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2C-3 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				6
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2C-5 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2D-3 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				6
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (MCC 2D-5 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				5
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。



・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (電気室用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				39
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 2500 mm EL. -4000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	ハロンボンベ (A系蓄電池室用)
種 類	-			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			68以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		265* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		4.4以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		9.0以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材 料	-			マンガン鋼
個 数	-			2
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		消火系
	設 置 床	-		原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	-	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (B系蓄電池室(北側)用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			24以上(24* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		622* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4以上(5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0以上(9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				3
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1: 公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (B系蓄電池室(南側)用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			24以上(24* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		622* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4以上(5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0以上(9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1: 公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (非常用ガス再循環系 排風機 A 用)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (非常用ガス再循環系 排風機B用)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機 A 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				3
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機 B 用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				3
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。



・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンポンベ (原子炉再循環系流量制御弁用 制御油圧発生装置 B 用)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			4
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称			-	ハロンボンベ (空調機械室用)
種 類	-			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		265* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材 料	-			マンガン鋼
個 数	-			30
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	-		消火系
	設 置 床	-		原子炉建屋付属棟 EL. 8200 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	-		-
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	-	-	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (ケーブル処理室用)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				16
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			二酸化炭素ボンベ庫 EL. 8100 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (緊急時対策所建屋用 1)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				14
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			緊急時対策所建屋 EL. 23300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1 : 公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (緊急時対策所建屋用 2)	
種 類	—			一般継目なし容器	
容 量	ℓ/個			14 以上 (14* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2	
最 高 使 用 温 度	℃			40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料	—				マンガン鋼
個 数	—				8
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			緊急時対策所建屋 EL. 23300 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用 1)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			20
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			常設代替高圧電源装置置場 ハロン消火設備ボンベ室 A EL. 2000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用 2)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		14 以上 (14* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		420* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			8
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			常設代替高圧電源装置置場 ハロン消火設備ボンベ室 A EL. 2000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後	
名 称				ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用 3)	
種 類		—		一般継目なし容器	
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )	
最 高 使 用 圧 力		MPa		5.2	
最 高 使 用 温 度		℃		40	
主 要 寸 法	外 径	mm	—	265* <sup>1</sup>	
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>	
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )	
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )	
材 料		—			マンガン鋼
個 数		—			9
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—			消火系
	設 置 床	—			常設代替高圧電源装置置場 ハロン消火設備ボンベ室 B EL. 2000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—	
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—	

注記 \*1：公称値を示す。



・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				ハロンボンベ (カルバート (立坑部) 用)
種 類	—			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			5.2
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		265* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		4.4 以上 (5.5* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		9.0 以上 (9.0* <sup>1</sup> )
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			14
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		常設代替高圧電源装置用 ハロン消火設備ボンベ室 C EL. -8000 mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1 : 公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				二酸化炭素ポンベ (非常用ディーゼル発電機室用)
種 類	—			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			10.8
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm	—	268* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		5.9 以上 (7.0* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		12.0 以上 (12.0* <sup>1</sup> )
材 料	—			マンガン鋼
個 数	—			57
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		二酸化炭素ポンベ庫 EL. 8100mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				二酸化炭素ポンベ (高压炉心スプレイ系ディーゼル 発電機室用)
種 類		—		一般継目なし容器
容 量		ℓ/個		68 以上 (68* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力		MPa		10.8
最 高 使 用 温 度		℃		40
主 要 寸 法	外 径	mm		268* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		5.9 以上 (7.0* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		12.0 以上 (12.0* <sup>1</sup> )
材 料		—		マンガン鋼
個 数		—		55
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		二酸化炭素ポンベ庫 EL. 8100mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称				二酸化炭素ポンベ (緊急時対策所建屋発電機室 2A 用)
種 類	—			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			82.5 以上 (82.5* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			10.8
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		273* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1690* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		5.2 以上 (6.0* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		11.0 以上 (11.0* <sup>1</sup> )
材 料	—			クロムモリブデン鋼
個 数	—			18
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		緊急時対策所建屋 EL. 23300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

・常設

			変 更 前	変 更 後
名 称			—	二酸化炭素ポンベ (緊急時対策所建屋発電機室 2B 用)
種 類	—			一般継目なし容器
容 量	ℓ/個			82.5 以上 (82.5* <sup>1</sup> )
最 高 使 用 圧 力	MPa			10.8
最 高 使 用 温 度	℃			40
主 要 寸 法	外 径	mm		268* <sup>1</sup>
	高 さ	mm		1500* <sup>1</sup>
	胴 部 厚 さ	mm		5.9 以上 (7.0* <sup>1</sup> )
	底 部 厚 さ	mm		12.0 以上 (12.0* <sup>1</sup> )
材 料	—			クロムモリブデン鋼
個 数	—			18
取 付 箇 所	系 統 名 ( ラ イ ン 名 )	—		消火系
	設 置 床	—		緊急時対策所建屋 EL. 23300mm
	溢 水 防 護 上 の 区 画 番 号	—		—
	溢 水 防 護 上 の 配 慮 が 必 要 な 高 さ	—		—

注記 \*1：公称値を示す。

その他発電用原子炉の附属施設

4 火災防護設備

2 消火設備に係る次の事項

2.1 消火系

(5) 主配管の名称, 最高使用圧力, 最高使用温度, 外径, 厚さ及び材料 (常設及び可搬型の別に記載し, 可搬型の場合は, 個数及び取付箇所を付記すること。)

・常設

変 更 前						変 更 後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
消 火 系	—					ろ過水貯蔵タンク ～ ディーゼル駆動消火ポン プ	1.38	50	318.5	10.3	STPG370
									318.5	10.3	STPT410
									216.3	8.2	STPT410
						多目的タンク ～ ろ過水貯蔵タンク出口 配管	1.38	50	318.5	10.3	STPG370
									ろ過水貯蔵タンク出口 配管 ～ 電動機駆動消火ポン プ	1.38	50
						216.3	8.2	STPT410			
						ディーゼル駆動消火ボ ンプ ～ 原子炉建屋消火栓分岐 点	1.38	50	165.2	7.1	STPT410
									216.3	8.2	STPT410
									114.3	6.0	STPT410
									114.3	6.0	SUS304TP

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-					電動機駆動消火ポンプ ～ ディーゼル駆動消火ポンプ出口配管	1.38	50	165.2	7.1	STPT410
						ハロンポンベユニット (ほう酸水注入系ポンプA用) ～ ほう酸水注水系ポンプA噴射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (ほう酸水注入系ポンプB用) ～ ほう酸水注水系ポンプB噴射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2C-7用) ～ MCC 2C-7噴射ノズル分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (原子炉再循環系低速度用電源装置A用) ～ 原子炉再循環系低速度用電源装置A噴射ノズル分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-					ハロンポンベユニット (原子炉再循環系低速度用電源装置 B 用) ～ 原子炉再循環系低速度用電源装置 B 噴射ノズル分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2D-9 用) ～ MCC 2D-9 噴射ノズル分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2C-9 用) ～ MCC 2C-9 噴射ノズル分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (125V DC MCC 2A-2 用) ～ 125V DC MCC 2A-2 噴射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2C-8 用) ～ MCC 2C-8 噴射ノズル分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP



(続き)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
消 火 系	—	—	—	—	—	ハロンポンベユニット (MCC 2D-8 用) ～ MCC 2D-8 噴射ノズル 分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2D-7 用) ～ MCC 2D-7 噴射ノズル 分岐点	5.2	40	42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (原子炉再循環系流量 制御弁用制御油圧発生 装置 A 用) ～ 原子炉再循環系流量制 御弁用制御油圧発生装 置 A 噴射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	3.4	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (プロセスコンピュー タ室用) ～ プロセスコンピュータ 室噴射ノズル分岐点	5.2	40	27.2	2.9	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (残留熱除去系熱交換 器 A 室用) ～ 残留熱除去系熱交換器 A 室噴射ノズル分岐点	5.2	40	48.6	3.7	SUS304TP

(続き)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
消 火 系	—	—	—	—	—	ハロンポンベユニット (125V DC MCC 2A-1 用) ～ 125V DC MCC 2A-1 噴 射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						42.7			3.6	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (制御棒駆動水ポンプ A用) ～ 制御棒駆動水ポンプ A 噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						42.7			3.6	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (制御棒駆動水ポンプ B用) ～ 制御棒駆動水ポンプ B 噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						42.7			3.6	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (残留熱除去系ポンプ A室用) ～ 残留熱除去系ポンプ A 室噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						34.0			3.4	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (低圧炉心スプレイ系 ポンプ用) ～ 低圧炉心スプレイ系ポ ンプ噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						48.6			3.7	SUS304TP	

(続き)

変更前						変更後											
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料						
消火系	-					ハロンポンベユニット (残留熱除去系ポンプ B 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
						残留熱除去系ポンプ B 噴射ノズル分岐点			42.7	3.6	SUS304TP						
						ハロンポンベユニット (残留熱除去系ポンプ C 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
						残留熱除去系ポンプ C 噴射ノズル分岐点			42.7	3.6	SUS304TP						
						ハロンポンベユニット (高圧炉心スプレー系ポンプ用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
						高圧炉心スプレー系ポンプ噴射ノズル分岐点											
						ハロンポンベユニット (原子炉隔離時冷却系ポンプ室用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
						原子炉隔離時冷却系ポンプ室噴射ノズル分岐点			42.7	3.6	SUS304TP						
						ハロンポンベユニット (MCC 2C-3 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
						MCC 2C-3 噴射ノズル分岐点			48.6	3.7	SUS304TP						

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-	-				ハロンポンベユニット (MCC 2C-5 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						～ MCC 2C-5 噴射ノズル分岐点			48.6	3.7	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2D-3 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						～ MCC 2D-3 噴射ノズル分岐点			48.6	3.7	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (MCC 2D-5 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						～ MCC 2D-5 噴射ノズル分岐点			42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (電気室用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						～ 電気室噴射ノズル分岐点			114.3	6.0	SUS304TP
ハロンポンベユニット (A系蓄電池室用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
～ A系蓄電池室噴射ノズル分岐点			42.7	3.6	SUS304TP						
ハロンポンベユニット (B系蓄電池室(北側)用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						
～ B系蓄電池室(北側)噴射ノズル分岐点			27.2	2.9	SUS304TP						

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-					ハロンポンベユニット (B系蓄電池室(南側)用) ~ B系蓄電池室(南側)噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						27.2			2.9	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (非常用ガス再循環系排風機A用) ~ 非常用ガス再循環系排風機A噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						42.7			3.6	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (非常用ガス再循環系排風機B用) ~ 非常用ガス再循環系排風機B噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						42.7			3.6	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (非常用ガス処理系排風機A用) ~ 非常用ガス処理系排風機A噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						34.0			3.4	SUS304TP	
						ハロンポンベユニット (非常用ガス処理系排風機B用) ~ 非常用ガス処理系排風機B噴射ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						34.0			3.4	SUS304TP	

(続き)

変更前						変更後					
名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (°C)	外 径*1 (mm)	厚 さ*1 (mm)	材 料
消 火 系	-	-	-	-	-	ハロンポンベユニット (原子炉再循環系流量 制御弁用制御油圧発生 装置 B 用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						原子炉再循環系流量制 御弁用制御油圧発生装 置 B 噴射ノズル分岐点			42.7	3.6	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (空調機械室用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						空調機械室噴射ノズル 分岐点			89.1	5.5	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (ケーブル処理室用)	5.2	40	89.1	5.5	SUS304TP
						ケーブル処理室噴射ノ ズル分岐点					
						ハロンポンベユニット (緊急時対策所用 1)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
選択弁	89.1	5.5	SUS304TP								
選択弁 ～ 非常用換気設備室噴射 ノズル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP						

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消 火 系	-					選択弁 ～ 2階電気品室噴射ノズ ル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						選択弁 ～ 3階電気品室噴射ノズ ル分岐点	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						選択弁 ～ 125V充電器室噴射ノ ズル分岐点	5.2	40	42.7	4.9	SUS304TP
						ハロンボンベユニット (緊急時対策所用2) ～ 選択弁	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
									34.0	4.5	SUS304TP
						選択弁 ～ 125V蓄電池室噴射ノ ズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
			27.2	3.9	SUS304TP						

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-	-				選択弁 ～ 24V蓄電池室2B噴射 ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
						27.2			3.9	SUS304TP	
						選択弁 ～ 24V蓄電池室2A噴射 ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
						27.2			3.9	SUS304TP	
						選択弁 ～ 通信機械室噴射ノズル 分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
						ハロンボンベユニット (常設代替高圧電源装 置置場用1) ～ 選択弁			5.2	40	60.5
						89.1	5.5	SUS304TP			
						34.0	4.5	SUS304TP			
						42.7	4.9	SUS304TP			
						選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室B噴 射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室D噴 射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP						
選択弁 ～ 換気機械室噴射ノズル 分岐点	5.2	40	89.1	5.5	SUS304TP						



(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-					選択弁 ～ 電気室噴射ノズル分岐点	5.2	40	89.1	5.5	SUS304TP
						ハロンポンベユニット (常設代替高圧電源装置 置場用2)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
									34.0	4.5	SUS304TP
									42.7	4.9	SUS304TP
						選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室A噴射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
						選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室C噴射ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
						選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室E噴射ノズル分岐点	5.2	40	27.2	3.9	SUS304TP
						選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室F噴射ノズル分岐点	5.2	40	27.2	3.9	SUS304TP

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-					ハロンポンベユニット (常設代替高圧電源装置 置場所用 3) ～ 選択弁	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
									34.0	4.5	SUS304TP
									42.7	4.9	SUS304TP
									48.6	5.1	SUS304TP
						選択弁 ～ 機器搬入シャフト噴射 ノズル分岐点	5.2	40	34.0	4.5	SUS304TP
						選択弁 ～ DB用シャフト及びDB 用トンネル噴射ノズ ル分岐点	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						選択弁 ～ SA用シャフト及びS A用トンネル噴射ノズ ル分岐点	5.2	40	48.6	5.1	SUS304TP
						ハロンポンベ (カルバ ート (立坑部) 用) ～ 選択弁	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
									76.3	5.2	SUS304TP
									42.7	3.6	SUS304TP
						選択弁 ～ 分岐点 (DB用立坑及びDB用 トンネル用)	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系		-				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)	5.2	40	60.5	3.9	SUS304TP
						分岐点 (DB用立坑及びDB用トレンチ用並びにDB用立坑及び軽油配管用トレンチ用)					
						分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP
						噴射ノズル分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)					
選択弁	5.2	40	76.3	5.2	SUS304TP						
噴射ノズル分岐点 (SA用立坑, SA用トンネル, SA用トレンチ及び軽油配管用トレンチ用)						5.2	40	89.1	5.5	SUS304TP	

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-	-				*2 二酸化炭素ポンベユニット (非常用ディーゼル発電機室用) ～ 噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機 2C 室用)	10.8	40	76.3	7.0	STPG370
									114.3	8.6	STPG370
									101.6	8.1	STPG370
						*2 非常用ディーゼル発電機 2D 室用分岐点 ～ 噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機 2D 室用)	10.8	40	101.6	8.1	STPG370
									89.1	7.6	STPG370
									114.3	8.6	STPG370
						*2 二酸化炭素ポンベユニット (高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機 室用) ～ 噴射ノズル分岐点	10.8	40	101.6	8.1	STPG370

(続き)

変更前						変更後					
名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧力 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径*1 (mm)	厚さ*1 (mm)	材料
消火系	-	-				二酸化炭素ポンベユニット (緊急時対策所建屋発電機室 2A 用)	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
						緊急時対策所建屋発電機室 2A ノズル分岐点			76.3	7.0	SUS304TP
						二酸化炭素ポンベユニット (緊急時対策所建屋発電機室 2B 用)	10.8	40	60.5	5.5	SUS304TP
						緊急時対策所建屋発電機室 2B ノズル分岐点			76.3	7.0	SUS304TP

注記 \*1: 公称値を示す。

\*2: 本設備は既存の設備である。

表1 火災防護設備の主要設備リスト (1/19)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
火災区域構造物及び火災区画構造物	-	-	-	-	-	-	-	原子炉建屋原子炉棟及び原子炉建屋付属棟	C	-	-	-
								原子炉建屋廃棄物処理棟	C	-	-	-
								タービン建屋	C	-	-	-
								廃棄物処理建屋	C	-	-	-
								海水ポンプエリア	C	-	-	-
								固体廃棄物作業建屋	C	-	-	-
								固体廃棄物貯蔵庫	C	-	-	-
								使用済燃料乾式貯蔵建屋	C	-	-	-
								常設代替高圧電源装置置場	C	-	-	-
								軽油貯蔵タンクエリア	C	-	-	-
								緊急時対策所建屋	C	-	-	-
								常設低圧代替注水系ポンプ室, 格納容器圧力逃がし装置格納槽, 緊急用海水ポンプピット	C	-	-	-
								復水貯蔵タンクエリア	C	-	-	-
								屋外エリア	C	-	-	-
排気筒モニタ室	C	-	-	-								
可搬型設備用軽油タンク	C	-	-	-								

表1 火災防護設備の主要設備リスト (2/19)

		変 更 前					変 更 後					
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	ポンプ	-					電動機駆動消火ポンプ	C	Non	-	-
		ディーゼル駆動消火ポンプ						C	Non*2 火力技術基準*3	-	-	
		ろ過水貯蔵タンク						C	クラス3	-	-	
		多目的タンク (東海発電所と共用)						C	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプA用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (ほう酸水注入系ポンプB用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (MCC 2C-7用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (原子炉再循環系低速度用電源装置A用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (原子炉再循環系低速度用電源装置B用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (MCC 2D-9用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (MCC 2C-9用)						C-2	クラス3	-	-	
		ハロンポンベ (125V DC MCC 2A-2用)						C-2	クラス3	-	-	
		容器										

表1 火災防護設備の主要設備リスト (3/19)

		変更前					変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	容器	-					ハロンポンベ (MCC 2C-8用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (MCC 2D-8用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (MCC 2D-7用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置A用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (プロセスコンピュータ室用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (残留熱除去系熱交換器 A 室用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (125V DC MCC 2A-1 用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプA用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (制御棒駆動水ポンプB用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプA室用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (低圧炉心スプレイポンプ用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンポンベ (残留熱除去系ポンプB用)	C-2	クラス3	-	-



表1 火災防護設備の主要設備リスト (4/19)

		変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	容器	-					ハロンボンベ (残留熱除去系ポンプC用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (高圧炉心スプレイポンプ用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (原子炉隔離時冷却系ポンプ室用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (MCC 2C-3用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (MCC 2C-5用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (MCC 2D-3用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (MCC 2D-5用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (電気室用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (A系蓄電池室用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (B系蓄電池室 (北側) 用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (B系蓄電池室 (南側) 用)	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機A用)	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (5/19)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	容器	-					ハロンボンベ (非常用ガス再循環系排風機 B 用)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機 A 用)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (非常用ガス処理系排風機 B 用)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置 B 用)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (空調機械室用)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (ケーブル処理室用)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (緊急時対策所建屋用 1) *4, *5	-	-	-	-
								ハロンボンベ (緊急時対策所建屋用 2) *4, *5, *7	-	-	-	-
								ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用 1)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用 2)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (常設代替高圧電源装置置場用 3)	C-2	クラス 3	-	-
								ハロンボンベ (カルパート (立坑部) 用)	C-2	クラス 3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (6/19)

		変 更 前				変 更 後							
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス	
消火設備	消火系	容器	-	二酸化炭素ポンベ (非常用ディーゼル発電機室用)	C-2	クラス3	-	-	二酸化炭素ポンベ (非常用ディーゼル発電機室用)	C-2	クラス3	-	-
				二酸化炭素ポンベ (高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用)	C-2	クラス3	-	-	二酸化炭素ポンベ (高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用)	C-2	クラス3	-	-
				二酸化炭素ポンベ (緊急時対策所建屋発電機室2A用) *4, *5	-	-	-	-	二酸化炭素ポンベ (緊急時対策所建屋発電機室2A用) *4, *5	-	-	-	-
				二酸化炭素ポンベ (緊急時対策所建屋発電機室2A用) *4, *5	-	-	-	-	二酸化炭素ポンベ (緊急時対策所建屋発電機室2A用) *4, *5	-	-	-	-
	ろ過水貯蔵タンク ～ ディーゼル駆動消火ポンプ	C		クラス3	-	-	ろ過水貯蔵タンク ～ ディーゼル駆動消火ポンプ	C	クラス3	-	-		
	多目的タンク ～ ろ過水貯蔵タンク出口配管	C		クラス3	-	-	多目的タンク ～ ろ過水貯蔵タンク出口配管	C	クラス3	-	-		
	ろ過水貯蔵タンク出口配管 ～ 電動機駆動消火ポンプ	C		クラス3	-	-	ろ過水貯蔵タンク出口配管 ～ 電動機駆動消火ポンプ	C	クラス3	-	-		
	ディーゼル駆動消火ポンプ ～ 原子炉建屋消火栓分岐点	C		クラス3	-	-	ディーゼル駆動消火ポンプ ～ 原子炉建屋消火栓分岐点	C	クラス3	-	-		
	電動機駆動消火ポンプ ～ ディーゼル駆動消火ポンプ出口配管	C		クラス3	-	-	電動機駆動消火ポンプ ～ ディーゼル駆動消火ポンプ出口配管	C	クラス3	-	-		
	主配管												

表1 火災防護設備の主要設備リスト (7/19)

		変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				ハロンボンベユニット (ほう酸水注入系ポンプA用) ～ ほう酸水注入系ポンプA噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (ほう酸水注入系ポンプB用) ～ ほう酸水注入系ポンプB噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2C-7用) ～ MCC 2C-7噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (原子炉再循環系低速度用電源装置A用) ～ 原子炉再循環系低速度用電源装置A噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (原子炉再循環系低速度用電源装置B用) ～ 原子炉再循環系低速度用電源装置B噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2D-9用) ～ MCC 2D-9噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2C-9用) ～ MCC 2C-9噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (8/19)

		変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管	-					ハロンボンベユニット (125V DC MCC 2A-2用) ～ 125V DC MCC 2A-2噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2C-8用) ～ MCC 2C-8噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2D-8用) ～ MCC 2D-8噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2D-7用) ～ MCC 2D-7噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置A用) ～ 原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置A噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (プロセスコンピュータ室用) ～ プロセスコンピュータ室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (残留熱除去系熱交換器A室用) ～ 残留熱除去系熱交換器A室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (9/19)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				ハロンボンベユニット (125V DC MCC 2A-1用) ～ 125V DC MCC 2A-1噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (制御棒駆動水ポンプA用) ～ 制御棒駆動水ポンプA噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (制御棒駆動水ポンプB用) ～ 制御棒駆動水ポンプB噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (残留熱除去系ポンプA室用) ～ 残留熱除去系ポンプA室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (低圧炉心スプレイポンプ用) ～ 低圧炉心スプレイポンプ噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (残留熱除去系ポンプB用) ～ 残留熱除去系ポンプB噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (残留熱除去系ポンプC用) ～ 残留熱除去系ポンプC噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (10/19)

		変更前					変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				ハロンボンベユニット (高圧炉心スプレイポンプ用) ～ 高圧炉心スプレイポンプ噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (原子炉隔離時冷却系ポンプ室用) ～ 原子炉隔離時冷却系ポンプ室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2C-3用) ～ MCC 2C-3噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2C-5用) ～ MCC 2C-5噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2D-3用) ～ MCC 2D-3噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (MCC 2D-5用) ～ MCC 2D-5噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (電気室用) ～ 電気室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (11/19)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				ハロンボンベユニット (A系蓄電池室用) ～ A系蓄電池室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (B系蓄電池室 (北側) 用) ～ B系蓄電池室 (北側) 噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (B系蓄電池室 (南側) 用) ～ B系蓄電池室 (南側) 噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系排風機A用) ～ 非常用ガス再循環系排風機A噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (非常用ガス再循環系排風機B用) ～ 非常用ガス再循環系排風機B噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排風機A用) ～ 非常用ガス処理系排風機A噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (非常用ガス処理系排風機B用) ～ 非常用ガス処理系排風機B噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-



表1 火災防護設備の主要設備リスト (12/19)

		変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				ハロンボンベユニット（原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置B用） ～ 原子炉再循環系流量制御弁用制御油圧発生装置B噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット（空調機械室用） ～ 空調機械室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット（ケーブル処理室用） ～ 噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット（緊急時対策所用1） ～ 選択弁 *4, *5	-	-	-	-
								選択弁 ～ 非常用換気設備室噴射ノズル分岐点 *4	-	-	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (13/19)

		変更前				変更後					
設備区分	系統名	機器区分	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
			耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
							選択弁 ～ 2階電気品室噴射ノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
							選択弁 ～ 3階電気品室噴射ノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
							選択弁 ～ 125V充電器室噴射ノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
							ハロンボンベユニット (緊急時対策所用2) ～ 選択弁 *4, *5, *7	-	-	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (14/19)

		変更前				変更後						
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管	-					選択弁 ～ 125V蓄電池室噴射ノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
								選択弁 ～ 24V蓄電池室2B噴射ノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
								選択弁 ～ 24V蓄電池室2A噴射ノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
								選択弁 ～ 通信機械室噴射ノズル分岐点 *4, *7	-	-	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (15/19)

		変更前					変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管	-					ハロンボンベユニット (常設代替 高圧電源装置置場用1) ～ 選択弁	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室B噴射ノズル分岐 点	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室D噴射ノズル分岐 点	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 換気機械室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 電気室噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (常設代替高 圧電源装置置場用2) ～ 選択弁	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室A噴射ノズル分岐 点	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (16/19)

		変 更 前				変 更 後						
設備区分	系統名	機器区分	名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名 称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室C噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室E噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								選択弁 ～ 燃料移送ポンプ室F噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								ハロンボンベユニット (常設代替高圧電源装置置場用3) ～ 選択弁	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (17/19)

		変更前				変更後					
設備区分	系統名	機器区分	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
			名称	耐震重要度分類	機器クラス	設備分類		重大事故等機器クラス	耐震重要度分類	機器クラス	設備分類
							選択弁 ～ 機器搬入シャフト噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
							選択弁 ～ DB用シャフト 及び DB用トンネル噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
			-				選択弁 ～ SA用シャフト 及び SA用トンネル噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
							ハロンボンベ (カルバート (立坑部) 用) ～ 選択弁	C-2	クラス3	-	-

表1 火災防護設備の主要設備リスト (18/19)

設備区分	系統名	機器区分	変更前				変更後					
			名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管	-	選択弁	-	-	-	選択弁	C-2	クラス3	-	-
				～				～				
				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)				
				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)				
				～				～				
				分岐点 (DB用立坑及びDB用トレンチ用並びにDB用立坑及び軽油配管用トレンチ用)				分岐点 (DB用立坑及びDB用トレンチ用)				
				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)				分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)				
				～				～				
噴射ノズル分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)	噴射ノズル分岐点 (DB用立坑及びDB用トンネル用)											
選択弁	-	-	-	選択弁	C-2	クラス3	-	選択弁	C-2	クラス3	-	-
～				～								
噴射ノズル分岐点 (SA用立坑, SA用トンネル, SA用トレンチ及び軽油配管用トレンチ用)				噴射ノズル分岐点 (SA用立坑, SA用トンネル, SA用トレンチ及び軽油配管用トレンチ用)								
二酸化炭素ボンベユニット (非常用ディーゼル発電機室用)				二酸化炭素ボンベユニット (非常用ディーゼル発電機室用)								
～				～								
噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2C室用)				噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2C室用)								
非常用ディーゼル発電機2D室用分岐点				非常用ディーゼル発電機2D室用分岐点								
～				～								
噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2D室用)	噴射ノズル分岐点 (非常用ディーゼル発電機2D室用)											

表1 火災防護設備の主要設備リスト (19/19)

			変更前				変更後					
設備区分	系統名	機器区分	名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1		名称	設計基準対象施設 *1		重大事故等対処設備 *1	
				耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス		耐震重要度分類	機器クラス	設備分類	重大事故等機器クラス
消火設備	消火系	主配管		-				二酸化炭素ポンベユニット (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機室用) ～ 噴射ノズル分岐点	C-2	クラス3	-	-
								二酸化炭素ポンベユニット (緊急時対策所建屋発電機室2A用) ～ 緊急時対策所建屋発電機室2Aノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-
								二酸化炭素ポンベユニット (緊急時対策所建屋発電機室2B用) ～ 緊急時対策所建屋発電機室2Bノズル分岐点 *4, *5	-	-	-	-

注記 \*1 : 表1に用いる略語の定義は「原子炉本体」の「5 原子炉本体の基本設計方針, 適用基準及び適用規格」の「表1 原子炉本体の主要設備リスト 付表1」による。

\*2 : 消火設備における消火系ポンプのうち, ポンプを示す。

\*3 : 消火設備における消火系ポンプのうち, 原動機を示す。

\*4 : 常設重大事故緩和設備を防護する消火設備である。

\*5 : 常設重大事故防止設備を防護する消火設備である。

\*6 : 常設耐震重要重大事故防止設備を防護する消火設備である。

\*7 : 常設重大事故防止設備及び常設重大事故緩和設備以外の常設重大事故等対処設備を防護する消火設備である。